



(インパクトサマリーレポート)

- ▶「衝突負荷 (Collision Workloads) トップ5」の表
- ▶「総衝撃負荷 (Total Impacts)」を示すグラフ表示
- ▶選手別の衝撃負荷 (Impact Load) のグラフ表示

個々のアスリートに由来する詳細なレポートが表示されます。衝撃 (Impact) の数、日数、1日あたりの衝撃 (Impact) の数、衝撃の大きさを示す線形のグラフや衝撃を受けた場所を示す立体図などの情報も表示されます。

(Prevent Biometrics社製マウスガードの特徴)

- ・PRL、URC、Top14の各リーグにおいてマウスガードの普及とコンプライアンス (装着への理解) に高い評価を得ています
- ・マウスガードは、安全で快適なフィット感を保証するために、高度にカスタマイズされています
- ・マウスガードの厚みと高さは、アスリートの好みに合わせてカスタマイズ可能です
- ・マウスガードの装着以外に、アスリートに求められる事はありません

## VALIDATED WITH LEADING RESEARCH & Commercial PARTNERS

Researchers & Health Care Providers



Governing Bodies & Elite Teams



THE UNIVERSITY OF BRITISH COLUMBIA



UF UNIVERSITY OF FLORIDA



### ボイル型マウスガードの作成手順

1. 水を沸騰させます
2. 沸騰したお湯の中にマウスガード1つを20秒間入れます。
3. 沸騰したお湯から大きめのスプーンやお玉でマウスガードを取り出し、1~3秒冷水につけます。  
ステンレスのスプーンやお玉は使用しないでください。
4. 鏡を使って、マウスガードを上側の歯の前に置き中心を合わせます。下の歯が完全にへこむように30秒間噛み締め、フィットさせます。
5. さらに30秒間マウスガードを装着し続け、マウスガードを外します。
6. マウスガードを冷水で10秒間冷やします。
7. マウスガードを1時間以上冷ましてから使用します。

注意: マウスガードは冷やすと縮みます。最初のフィッティングの後、保持力が弱い場合 (フィット感が弱い場合) は、保持力を高めるために 24時間冷やし続けてください。それでも保持力に問題がある場合は、上記と同じ手順 (再度熱湯に入れて) でマウスガードを装着してください。

